

(令和6年3月14日現在)

岩手県総務部税務課

県税システム入力データ作成業務 仕様書等に対する質問への回答票

No.	資料名称	該当項目 (ページ等)	質問内容 (原文のまま掲載しています)	回答	質問日	回答日
1	仕様書	仕様書3	仕様書3委託期間 スケジュールの中の事前準備作業及びテスト期間について、テスト期間中想定される入力件数についてご教示願います。 (仕様に示された4月～8月の件数と同数となりますか)	テスト想定については、第1段階として各業務100件程度を数日の期間にてデータ作成、納品するテストを、その後段階的に件数を増やす等の想定をしています。特に自動車申告書については月の取扱件数が多いため、本番前に実際の申告書を用いた1か月分程度のテストデータ作成、納品する日回しテストを行いたいと考えております。 なお、件数や日程等の詳細については契約後に確定します。 また、受託業者様の本番前における人員確保がむずかしい等やむを得ない事情がある場合もあるかと思いますが、本番における品質確保の目的を担保しつつ、双方協議のうえテスト想定を検討することも想定しています。	R6. 3. 11	R6. 3. 14
2	仕様書	仕様書11	仕様書11 (10) 不正利用防止環境の整備 警報装置、監視設備の設置、操作画面の画像連続保存は必須となりますでしょうか。 (不正利用を防止する環境を整えることについて、岩手県様と協議とすることは可能でしょうか)	警報装置、監視設備の設置、操作画面の画像連続保存は必須環境ではなく、推奨環境となります。 独自の不正利用防止環境について、岩手県と協議することは可能です。	R6. 3. 11	R6. 3. 14
3	仕様書	仕様書別紙1～4	予定件数については、令和6年度、7年度とも、仕様書別紙1～4で示された件数から大幅な増減はないという認識でよろしいでしょうか。	県税システムへの取込が電子的に行われるもの以外について、本業務により取り込むことを想定していることから、電子収納等の推進により件数が減少することは想定されますが、現時点で大幅な減とは見込んでいません。また、大幅な増となる要因はありません。	R6. 3. 11	R6. 3. 14
4	仕様書	共通	入力に際し、入力フォーマットの提供はございますか。	各データ定義書に基づき、データ入力環境を整えていただく観点から、入力フォーマットは独自に作成していただく想定としています。 県から提供できるものとしては、入力時点の想定がエクセル形式とした場合、その形式から納品時のファイル形式であるCSV形式へ変換するツール(軽油引取税入力業務を除く。)を作成していますので、そちらの参考提供は可能です(このフォーマットが必須ということではありません。)	R6. 3. 11	R6. 3. 14
5	仕様書	外部インターフェース定義書	外部インターフェース定義書(ファイルレイアウト)について、「バッチシートから転記」と記載されている項目について、「バッチシート」についての様式等提示していただくことは可能でしょうか。(具体的に何を示すのかご教示願います。)	「領収済通知書」には、「バッチシート」が一緒になった状態で引渡ししますので、項目を転記することが可能となります。 また、ご希望により、事前に見本を提示することが可能です。	R6. 3. 11	R6. 3. 14
6	仕様書	外部インターフェース定義書	別添3_1、3_2、3_3には「歳入(出)金日計表から設定する」となっている項目もあります。この項目も受託業者が入力する必要があるのかご教示願います。	外部インターフェース定義書項番36収納番号本番については、歳入(出)金日計表から入力していただくこととなっています。入力方法は、説明欄をご覧ください。	R6. 3. 11	R6. 3. 14